

# 平成 29 年度第 1 回浜田市環境清掃対策審議会会議録

【日時】平成 29 年 4 月 24 日（月）

午後 1 時 30 分～午後 3 時

【会場】浜田市役所本庁舎地階会議室

1 市民生活部長あいさつ

2 会長あいさつ

【出席状況】委員出席 8 名 委員欠席 2 名 事務局出席 4 名

---

3 報告事項

1) 平成 28 年度のごみ処理実績について

【委員からの主な意見・質問】

- ・ 廃乾電池が 0 になっているが、回収はどうなっているのか。  
⇒回収は今までどおり行っている。リサイクルで処理するのにまとまった量が必要なため、3 年に一度処理をしているため、28 年度は 0 となっている。
- ・ 生ごみの水切りを進めていくと、それを包んで出している新聞紙の減量にもつながるのではないか。

2) 平成 29 年度一般廃棄物処理実施計画の策定について

【委員からの主な意見・質問】

- ・ 27 年度の収集の燃やせるごみの量と資料 1 の数字が違うがどういうことか。  
⇒資料 1 では燃やせるごみと古着・古布が別々に計上されているが、実施計画では合計した数字になっている。
- ・ 29 年度の計画排出量が 28 年度実績より多くなっているがいかがなものか。  
⇒ごみ処理基本計画の目標値を当てはめている。計画を作成した時点では 28 年度の実績が集計されていなかったが、4 月に集計した結果 29 年度計画を下回る結果となった。
- ・ 資源ごみの量が増加しているのは、リサイクル率を上げるためではないのか。  
⇒お見込みのとおりである。燃やせるごみ、燃やせないごみに入っている資源となるものをきちんと分別して資源とする計画になっている。
- ・ 実績より増加している計画は見直しが必要ではないか。  
⇒事務局で修正が可能かどうか検討をさせていただきたい。
- ・ リユース食器の昨年の利用状況はどうか。  
⇒21 件の申請で約 2 万個の利用をしていただいた。
- ・ BB 大鍋で使用したが予定していなかった配送料がかかり、赤字になってしまった。いい取り組みだが経費がかさむと利用がなくなるのではと心配している。
- ・ 利用する側としてはコストを少しでも下げたいので、手出しが必要になると

利用を控えることもある。

- ・なくなった分弁償となるので持って帰られる方の対策も必要となる。
  - ・レンタル数と使用数のギャップがすごいがどうしてか。
- ⇒イベントなので天候に左右されることや、初年度なので多めにレンタルされたことで未使用が多くなった。
- ・リサイクルステーションのことで、江津市のリサイクルステーションは夜間閉めるようだが、浜田市の場合どうするのか。
- ⇒今のところは、平日の開庁時間で考えている。広報へも掲載予定である。
- ・27年度で古着の回収は終了したが、28年度中に市民の反応はどうだったか。
- ⇒年度初めや例年の回収時期には問い合わせがあったが、それ以外の時期ではそれほど問い合わせはなかった。

### 3) 廃プラの焼却処理に向けた取組みについて

#### 【委員からの主な意見・質問】

- ・測定値について混焼前と混焼後で数値に変化はないということで良いか。
- ⇒良い。
- ・混焼後のほうが数値の良いものがあるがどういうことか。
- ⇒混焼することでカロリーが上がり、燃焼効率が良くなったと聞いている。
- ・大腸菌の数値が焼却試験中は大変多くなっているが。
- ⇒施設に確認しておきます。
- ・混焼中の廃プラの搬入量はどのくらいで想定していたのか。
- ⇒エコクリーンセンターでは4%を想定していた。
- ・燃焼効率が良くなることで燃料も節約することが出来たことなど、プラスの情報も市民に伝えればよいと思う。
  - ・廃プラを混焼することでむしろ良い数値が出ている気がするが、実施はいつになるのか。
- ⇒今の予定では、30年の4月から本格実施できるように進めている。

### 4) 生ごみ水切り器モニターの結果について

#### 【委員からの主な意見・質問】

- ・3年計画ぐらいで、自治区ごとに希望者に対して配布するようにできないか。
  - ・ごみの減量について地域座談会などを開催する予定はないか。その時に取りまとめて無料ではなく斡旋することもできるのでは。
  - ・私の地区では、動物を飼っている家に飼料として生ごみを提供している。
  - ・水切りをすることの意義などを、市民に周知し意識を高めてもらうことが必要では。
  - ・水を絞った生ごみでもやはり新聞で包んでしまうことはあると思う。使うのはいけませんとは言えないが、使う枚数を減らすなどの工夫は必要だと思う。
  - ・行政のほうで地域へ出向いて説明会などを開くことはできませんか。
- ⇒今も、ごみの分別などで出前講座などを実施しているので、要望があれば出かけていくこと可能である。

- ・地域でステーションに出されるごみは少なくなっていると感じている。
- ・何かの会合や催し物の時に環境課に来てもらい、水切りのことやごみの減量などの話をしてもらったりすることを今年度は進めてはどうか。

#### 4 その他

- ・今回すべてが報告事項となっているが、29年度の実施計画策定については審議事項と思ったがそうではないのか。基本計画だけを審議会で審議するのか。  
→基本計画は審議していただくが、実施計画は行政で作成し報告することになっている。
- ・実施計画についても事前に審議会で意見を求めたうえで、計画を決める方向が良いのではないか。